

# こんにちは 山田耕平 です

2020.11.19 No.390

このニュースへのご感想  
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1

TEL 090-9973-0941

ホームページ

<http://yamadakohei.jp>

## 杉並区議会第4回定例会で一般質問

# 新型コロナ対策の拡充とPCR検査強化を



11月16日、杉並区議会第4回定例会が開会しました。私は、新型コロナウイルス感染症対策と来年度予算編成、都市計画道路整備、外環道計画と陥没事故について、一般質問を行いました。

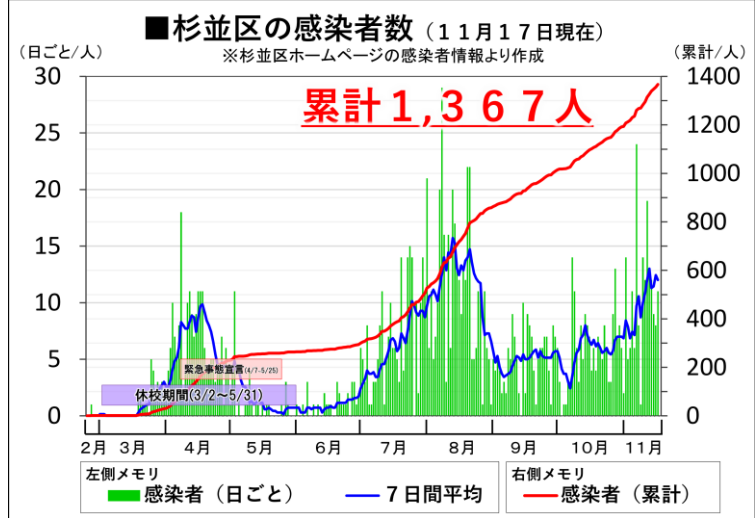
### 感染第3波が始まる PCR検査強化は急務

全国的に、新型コロナウイルス感染者の増加傾向が顕著となっており、事実上の「第3波」が始まったといえる状況です。杉並区内でも感染が拡大しています（下グラフ）。

感染防止と経済活動を両立させるために、PCR検査・社会的検査の抜本的拡充が必要です。特に、医療・介護・福祉・保育・学校など、集団感染のリスクが高く、感染が発生した場合に深刻な事態をまねきかねない施設への社会的検査の拡充は急務です。

他自治体の多くが、独自にPCR検査の拡充に乗り出しており、11月16日の報道では、世田谷区で実施されているPCR検査・社会的検査で、特別養護老人ホームの職員10人（無症状）の感染も確認されています。これら事例を示し、杉並区でも社会的検査の拡充に取り組むよう求めました。

区は、無症状者からの感染リスクを認め、特定業種の人に対する検査実施は「効果がない」とは言い切れない」と答弁しました。



一方、費用対効果等を理由として、社会的検査の拡充には消極的な姿勢を示しました。

住民の命や暮らしに関わることを費用対効果等で論ずることは不適切であり、感染拡大を食い止める上で問題です。

## 日本の検査数は世界で152位

医療機関、介護・高齢者施設、保育所などリスクが高いところへのスクリーニング検査（症状が出ていない人に対して病気の可能性があるか調べるために行う検査）については、欧米では常識的に行なわれており、米国でも推奨されています。国立病院機構三重病院臨床研究部長の谷口氏も必要性を指摘しています。

他自治体でも効果を上げている社会的検査を区独自にも取り組む必要があります。

日本のPCR検査数は諸外国に比べて異常に遅れており、人口比での検査実施数は、世界152位。諸外国と比較しても、圧倒的に遅れており、必要な検査が実施されていません。基礎自治体でも、検査拡充に本腰を入れて取り組むべきです。

# コロナ禍のもと、不要不急の道路整備は見直しを

## 100億円規模の減収見直し 来年度予算編成は全事業見直し

来年度予算編成は、新型コロナの影響により大幅な減収となる見通しです。令和3年度予算編成に関する基本方針では、来年度は100億円を超える減収の可能性が示され、感染の長期化により数カ年に亘り、厳しい状況が継続する可能性もあります。こうした状況を踏まえ、基本方針（下記）では「費用対効果を冷徹に見極め、徹底した経費削減・精査に努める」「必ず事業の見直し・廃止・整理統合・縮小を検討する」としています。

他区においてもコロナ禍の税収減に対応するため公共事業の見直しを開始している事例もあり、足立区や世田谷区では、本庁舎改修計画の見直し、荒川区では再開発事業のホール整備を見直す等の対応が行なわれています。

## 一方、都市計画道路整備には固執：

コロナ禍において、税金の使い方の大転換が必要です。当面の区財政は、新型コロナ対策と区民の福祉、暮らしの充実、命と健康を守るために振り向けることが求められます。

質問では税金の使途を見直し、住民に立ち退きを迫り、商店街を壊す補助132号線等、不要不急、住民合意のない都市計画道路整備等を中止するよう求めました。

区は「コロナ対策など区民生活を取り巻く喫緊の課題については最優先で取り組む」とする一方、都市計画道路事業等は中止しないと答弁しました。

補助132号線では、第一期区間だけで事業費は概算で約85億円。第二期区間も含めると250億円規模の事業となる見通しです。今優先すべきことはコロナ対応であり、都市計画道路整備は見直すべきです。

### 令和3年度予算編成に関する基本方針（抜粋）

に述べたGDPの速報値等を踏まえると、令和3年度は、他の交付金等への影響も含め100億円を超える減収となることも覚悟しなければならない。そうすると、この減収額は、令和2年度の環境部の予算額約90億円を超え、区民生活部の予算額約120億円に迫る額であり、まさに未曾有の減収規模となる。さらに、

#### 1 全般的事項

##### (1) 「総合計画・実行計画」の着実な推進

「総合計画・実行計画」については、令和3年度に最終年次を迎えるため、各施策の目標達成を確実なものとするため、必要な経費を見積もること。その際、今後の財政状況を鑑み、費用対効果を冷徹に見極め、徹底した経費削減・精査に努めること。なお、今後、歳入等の見通しが明らかになった時点で、事業の規模の縮小や延期等について判断することも生じ得るので、この点について留意願いたい。

##### (4) ゼロベースでの事業の精査・見直し

今後想定される極めて厳しい財政状況を踏まえ、既定事業を含む全事業について、行政評価の活用等により、徹底的に経費の精査を行うこと。事業の必要性や目的、実施効果を再確認するとともに、必ず事業の見直し・廃止・整理統合・縮小を検討すること。また、見積もりに当たっては、事業実施時期や実施方法についても精査を行い、経費削減を図ること。

## 保険料減免進まず… 再度の周知徹底を

新型コロナウイルスの影響により減収となった方は、国民健康保険料や介護保険料、後期高齢者医療保険料の減免を受けることができます。一方、減免は申請主義に基づき、対象者が申請をしなければ減免を受けられず、制度利用が進んでいません（下表）。

質問では、対象者への減免の案内等の再度の通知や、広報での周知徹底を図るよう求めました。

区は12月1日の広報や医療費通知時に減免の周知を行なうと答弁しました。

### ■国民健康保険料減免の実績

減免対象世帯	申請件数
約2万3000世帯	約1831件

### ■介護保険料減免の実績

減免対象者数	申請件数
約6000人	157件

※対象数は見込み

### 今週のコマ

#### 区長は体調不良のため、本会議欠席

田中区長は体調不良のため今週は議会を欠席中です。一般質問には等しく部長が答弁しています。杉並区議会では、区長答弁は与党議員のみ。野党議員には答弁に立ちません。H30年に23区調査をしたのですが、議員の立場によって答弁に立つことに差を付けている区はなく、杉並区の異常性を感じました。